

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)アルピオ・ガーデン南吉方 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境					0.40		-	3.6
1 音環境				2.0	0.15	3.0	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				1.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		L-40			-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		L-50			-	4.0	0.20	
1.3 吸音					-		-	
2 温熱環境				1.6	0.35	4.0	1.00	3.7
2.1 室温制御				2.2	0.50	4.0	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当		1.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.3	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		<住居部分>2.0%以上		1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		カーテンと庇の2種類を組み合わせてグレアを制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を採用している		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している			-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御					-		-	
Q2 サービス性				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.3	0.40	3.2	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-		-	
2 高度情報通信設備対応		100Mbitクラスのブロードバンド設備を整備			-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-		-	
3 内装計画		照明計画と内装計画を一体として計画		4.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		性能評価劣化等級3取得予定		5.0	0.20		-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		床・フローリング、壁・天井・ビニルクロス		4.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管B、排水管(屋内)・B、通気管・A		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		敷地外周部に緑化を施し、良好な景観を形成等	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		適切な断熱材を施し、外皮の熱負荷抑制に努めた	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.89	4.2	0.50	-	4.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価						
4.1	モニタリング					
4.2	運用管理体制					
集合住宅の評価						
4.1	モニタリング		3.0	1.00	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント	5.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		断熱材、ビニル床材	4.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	A種押出法ポリスチレンフォーム3種等	4.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	
2	振動		3.0	0.33	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制				-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	